

大変な時を乗り切れるよう仲間を助ける

「あなたに助ける力があるときに、善を行うべき相手にそうせずにはいられない」。格言 3:27

103 番の歌 牧者という贈り物

何を学ぶか*エホバは、大変な状況を経験している人たちを助けるために、仲間の兄弟姉妹を用いることがよくあります。あなたも兄弟姉妹の力になれます。どんなことができるでしょうか。

1. エホバはどんな方法で祈りに答えることがありますか。

誰かが心からの祈りを捧げる時、エホバはその祈りに答えるためにあなたを用いることがあります。エホバは、長老や援助奉仕者、開拓者や伝道者、若い人や年長の人、兄弟や姉妹など、いろいろな人を用います。エホバを愛する人が助けを求めて祈る時、長老や仲間の兄弟姉妹を通して「慰めてくれ」ます。（コロ 4:11 ユストと呼ばれるイエスもよろしくと言っています。…この人たちだけが神の王国のために私と共に働いており、私をととても慰めて(*力づけ、助けて)くれています）エホバや仲間のために働くことができるのは、本当に幸せなことです。では、感染症の流行や災害や迫害が起きる時、仲間を助けるためにどんなことができるでしょうか。

感染症が流行する時

2. 感染症が流行すると、仲間を助ける上でどんな難しさがありますか。

2 感染症が流行すると、兄弟姉妹を助けるのは難しくなります。例えば、感染のリスクがあるので、家を訪ねることはなかなかできないかもしれません。お金に困っている仲間を食事に招待したいと思っても、そうすることができないでしょう。また、自分の家族が大変な状況にあると、仲間を助けることまではできないとを感じるかもしれません。それでも、私たちはぜひ仲間を支えたいと思っています。エホバは私たちができる限りのことをする時、喜んでくださいます。（格 3:27 あなた(*あなたの手)に助ける力があるときに、善を行うべき相手(*受けるべき人)にそうせずにはいられない ; 19:17 立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて(*返して)くださる）では、どのように仲間の力になれるでしょうか。

3. デジー姉妹の会衆の長老たちからどんなことを学べますか。（エレミヤ 23:4）

3 長老たちにできること。長老たちは会衆の兄弟姉妹のことをよく知るようにしましょう。（エレミヤ 23:4 そして私は、彼らをしっかり世話する牧者たちを立てる。彼らはもはや恐れることもおびえることもなくなり、誰も失われない」と、エホバは宣言するを読む。）前の記事に出てきたデジー姉妹はこう言います。*一部の名前は変えてあります。「私の野外奉仕グループの長老たちは、以前から一緒に伝道したり、みんなで楽しい時間を過ごしたりしてくれていました」。このようにしてよく知り合って

いたので、デジー姉妹がパンデミックで親族を亡くした時にも、長老たちはすぐに助けることができました。

4. デジー姉妹が大変な時、長老たちが力になれたのはどうしてですか。ここから何を学べますか。

4 デジー姉妹はこう言います。「長老たちとよく知り合っていたので、自分の悩みや不安を話しやすかったです」。このことから、長老たちは何を学べますか。難しい状況が生じる前から仲間の様子をよく知っておくようにしましょう。兄弟姉妹と友になってください。感染症が流行して直接訪問することが難しいとしても、できることはあります。デジー姉妹はこう言います。「同じ日に、何人もの長老たちから電話やメールが来たこともあります。聖書の言葉を使って力づけてくれました。よく知っている聖句でしたが、とても心に染みました」。

5. 長老たちは、兄弟姉妹にどんな助けが必要かを知るために何ができますか。どんな面で力になれますか。

5 兄弟姉妹にどんな助けが必要かを知るために、上手に質問しましょう。（格 20:5 人の心の考え(*意図)は深い所にある水のような。識別力のある人はそれをくみ上げる）食べ物や薬などの必要な物に困っていないでしょうか。仕事には影響が出ていないでしょうか。家賃は払えているでしょうか。公的支援を受けるためのサポートが必要でしょうか。デジー姉妹の場合、兄弟姉妹が必要な物をいろいろと届けてくれました。でも、この大変な時を乗り切る上で特に力になったのは、長老たちが感情面や信仰面で助けてくれたことでした。姉妹はこう言います。「長老たちは私のために祈ってくれました。どんな内容の祈りだったかは覚えていませんが、とてもうれしかったのを覚えています。エホバが『独りじゃないから大丈夫だよ』と言ってくれているようでした」。（イザ 41:10 恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなとの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない)。13 あなとの神である私エホバは、あなたの右手をしっかりとつかみ、『恐れてはいけない。私があなただけを助ける』と言う）



司会者の兄弟が、王国会館に出席している人や、病気のためにオンラインで参加している兄弟のコメントを聞いて、うれしそうにしている。（6 節を参照。）

6. 兄弟姉妹を助けるために、会衆の一人一人にはどんなことができますか。（写真を参照。）

6 みんなにできること。もちろん、長老たちが兄弟姉妹を助ける面で率先します。でも、エホバの願いは、私たちみんなが仲間を助けることです。（ガラ 6:10 ですから、機会がある限り、全ての人に

、特に同じ信仰を持つ兄弟姉妹に、善いことを行いましょう) 病気の人にちょっとした親切を示すなら、喜んでもらえます。子供たちはお見舞いの手紙や絵を描いてプレゼントすることができます。若い人たちは買い物に行ってあげることができるでしょう。病気の人のために食事を作って家に届けることもできるかもしれません。感染症が流行すると、会衆のみんなに励ましが必要です。それで集会の後、少し残っておしゃべりすることができます。王国会館に出席していても、オンラインで参加していても、仲間を気遣うことができます。長老たちにも励ましが必要です。感染症が流行するといっそう忙しくなるからです。それで、長老たちに感謝の手紙を送っている兄弟姉妹もいます。このように会衆のみんなで「励まし合い、力づけ合」うのは本当に大切なことです。(テサー 5:11) それで、すでにしている通り、これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってください)

災害が起きた時

7. 災害が起きると、どんなつらい経験をしますか。

7 災害が起きると、突然大きな変化を経験します。家や持ち物を失ったり、大切な家族や友達を亡くしたりします。兄弟姉妹もこうしたつらい経験をすることがあります。では、災害が起きた時、仲間を助けるためにどんなことができるのでしょうか。

8. 長老や家族の頭は、災害が起きる前にどんなことをしておく必要がありますか。

8 長老たちにできること。兄弟姉妹が災害に備えてきちんと準備をしておくように助けてください。自分の身を守る方法や、長老たちと連絡を取る方法をきちんと理解しているか、確かめましょう。前の記事に出てきたマーガレット姉妹はこう言います。「長老たちは、会衆の必要の話で、『山火事の時期はまだ終わっていないので、気を付けるように』と言いました。『政府から避難指示が出たり身の危険を感じたりしたなら、すぐに逃げるように』とも言っていました」。このアドバイスは本当にぴったりのタイミングで与えられました。5週間後に、とても大きな山火事が起きたからです。家族の頭の皆さん、家族の崇拝の時に、災害が起きたらそれぞれがどう行動すべきかを話し合っておくようにしましょう。よく準備しておくなら、災害が起きても落ち着いて行動することができるでしょう。

9. 災害が起きる前や後に、長老たちはどんなことをしますか。

9 野外奉仕グループの監督は、災害が起きる前にグループの兄弟姉妹全員の連絡先を知っておく必要があります。そうした情報をリストにし、変更があったならすぐに反映しましょう。災害が起きたなら、グループの兄弟姉妹一人一人と連絡を取り、困っていることがないかを確認します。そして、その情報をすぐに長老団の調整者に知らせます。調整者は巡回監督に伝えます。兄弟たちがこのように協力することで、被災した兄弟姉妹を一番良い方法で助けることができます。マーガレット姉妹が住む地域で山火事が起きた時、巡回区内で450人ほどが自宅から逃げなければなりませんでした。そうした兄弟姉妹と連絡を取り、助けるために、長老たちが一生懸命に働きました。巡回監督は36時間眠ることなく、その長老たちをサポートしました。(コリ二 11:27) 苦勞して働き、眠れない夜を何度も過ごし、飢えと渴きを覚え、食べ物は何もないことがよくあり、寒さに震え、着

る物がないこともありましたが) 兄弟たちがこのように協力して働いたので、被災した兄弟姉妹全員が無事に避難先を確保することができました。

10. 長老たちが兄弟姉妹を感情面や信仰面で支えるのが大切なのはどうしてですか。(ヨハネ 21:15)

10 長老たちには感情面や信仰面で兄弟姉妹を助ける責任もあります。(ペテロ 5:2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう) もちろん、災害が起きた直後は、安否を確認したり衣食住の面で助けたりします。でも、その後しばらくの間、感情面や信仰面で支えていく必要があります。(ヨハネ 21:15 弟子たちが朝食を終えると、イエスはシモン・ペテロに言った。「ヨハネの子シモン、これら以上に私を愛していますか」。ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。イエスは言った。「私の子羊を養いなさい」を読む。) 支部委員会で奉仕しているハロルド兄弟は、被災した兄弟姉妹を大勢訪問してきました。兄弟はこう言います。「元気を取り戻すには時間がかかるものです。兄弟姉妹はだんだんと普段の生活へ戻っていきますが、家族や友達を亡くしたこと、家や大切なものを失ったこと、怖い思いをして生き延びたことは、なかなか忘れられません。そうしたことを思い出して、とても悲しい気持ちになることもあります。でもそれはごく自然なことであって、エホバへの信仰が弱いということではありません」。

11. 家族にはどんな助けが必要ですか。

11 長老の皆さん、「泣く人と一緒に泣きましょう」。(ロマ 12:15 喜ぶ人と一緒に喜び、泣く人と一緒に泣きましょう) 被災した兄弟姉妹に、エホバや仲間から愛されているということを伝えてください。兄弟姉妹が、家族みんなで祈りや聖書の勉強や集会や伝道といった良い習慣を守れるようにも助けましょう。親は、災害で失われない貴重なものに子供が目を向けられるよう助ける必要があります。長老たちはこの面でも親たちをサポートできます。親の皆さん、エホバがいつもそばにいて力になってくれる、ということをお子さんに教えてください。世界中の兄弟姉妹がぜひ助けたいと思ってくれていることも伝えましょう。(ペテロ 2:17 あらゆる人を敬い、信仰で結ばれた兄弟たち全員を愛し、神を畏れ、王を敬ってください)



近くで災害が起きた時、仲間を助けることができますか。(12 節を参照。)

*写真や挿絵: 1 組の夫婦が、災害で避難している仲間に食べ物を届けている。

12. 被災した仲間を助けるために、どんなことができますか。（写真を参照。）

12 **みんなにできること。** 近くで災害が起きた時には、自分に何ができるか、長老たちに尋ねてみてください。例えば、被災した兄弟姉妹や救援活動に來た兄弟姉妹を家に泊めてあげられるかもしれません。食べ物や生活に必要な物を届けることもできるでしょう。災害が遠くで生じた場合にも、力になれます。被災した仲間のためにエホバに祈ることができますし、世界的な活動のために寄付して、救援活動をサポートすることもできます。（[コリ二 1:8-11](#) 兄弟たち、アジア州で私たちが経験した苦難について知ってほしいと思います。私たちは、**どうすることもできないほどのひどい圧迫**を受け、**命さえ危うい状況**でした。9 **死の宣告を受けたように感じました**。それにより私たちは、自分自身ではなく、死者を生き返らせる神に頼るようになりました。10 神は**差し迫った死の危険**から確かに救ってくださったのであり、これから救ってくださいます。私たちには、神が今後も救ってくださるという希望があります。11 皆さんも、私たちのために**祈願をすることによって、私たちを助けてください**。多くの人の祈りのおかげで私たちは神から恵みを受けることができ、私たちのことで多くの人が感謝の祈りを捧げるでしょう。[: 8:2-5](#) 彼らは大きな試練に遭って苦悩する中、非常に貧しいにもかかわらず、喜びにあふれ、気前よく与える精神を豊かに示しました。3 彼らは資力に応じて、というより、**資力を超えて与えた**、と私は言い切れます。4 彼らは自分から、親切に与える機会を下さいと私たちに懇願し続けました。聖なる人たちのための救援奉仕に加わることを願ったのです。5 そして、**神の意志に沿ってまず自分を主と私たちに差し出し、期待以上のことを行ってくれました**）被災地に出掛けていけるなら、そのことを長老に伝えてください。救援活動に参加するよう招待されるなら、**いづれか訓練**を受けた後、必要に応じて被災地へ派遣されるでしょう。

迫害される時

13. エホバの証人の活動が禁止されると、どんな難しい状況が生じますか。

13 エホバの証人の活動が禁止されると、いろいろと難しい状況が生じます。兄弟姉妹は**経済的な問題**や**病気**や**愛する人の死**などを経験して**助けが必要になる**かもしれません。でも、長老たちは思うように連絡を取ったり訪問したりできないことがあります。前の記事に出てきた**アンドレイ兄弟**もそうでした。兄弟の野外奉仕グループのある姉妹は、**生活に困**っていました。そんな中、**交通事故**に遭い、**手術が幾つも必要**になって、**働けなく**なっていました。兄弟たちは、**禁令**や**感染症**の影響で**自由に動くことはできませんでしたが**、姉妹を**助けるためにできる限り**のことをしました。では、エホバは姉妹をどのように助けたのでしょうか。

14. 長老たちはどのようにエホバに頼れますか。

14 **長老たちにできること。** アンドレイ兄弟はエホバに祈り、**自分にできることを**しました。エホバは**その祈りに答え**、**もっと自由に動くことができる会衆の人たちを用**いて姉妹を助けました。**通院の送り迎え**をした人もいれば、**金銭的な援助**をした人もいました。このようにして、**一人一人が勇気を出**して自分に**できることを一生懸命に行**ったので、エホバの助けで姉妹を支えることができました。（[へブ 13:16](#) さらに、**善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません**。神は**そのような犠牲をととても喜んでくださいます**）長老の皆さん、**活動が制限**されている時には、**兄弟姉妹に協力**してもらいましょう。（[エレ 36:5, 6](#) それから**エレミヤはバルクにこう命じた**。「私は拘束されて

いて、エホバの家に入ることができません。6それで、あなたが入って行って、**私から聞いて巻物に書き取ったエホバの言葉を読み上げて**ください。断食の日にエホバの家で、人々に聞こえるように読んでください。そのようにして、町々からやって来るユダの民全てに読み聞かせるのです)そして、**何よりもエホバに頼**ってください。仲間を支えることができるよう、**エホバは必ず助けて**くださいます。

15. 迫害の中でも兄弟姉妹と仲良くするために、どんなことができますか。

15 **みんなにできること。**禁令下では、**少ない人数で集まらなければ**ならなくなるでしょう。それで、**今から兄弟姉妹と仲良く**することは本当に大切です。私たちが戦うべきなのは、サタンであって仲間の兄弟姉妹ではありません。**仲間の失敗や間違いを大目に見る**ようにしましょう。**意見がぶつかった時**には、**できるだけ早く解決**するようにします。(格 19:11 洞察力があればすぐに怒ることとは。過ち(*違反)を見過ごす(d*通り過ぎる)人は美しい。エフエ 4:26 腹が立っても、罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう)そして、**仲間を進んで助**けてください。(テト 3:14 他の兄弟たちも、**差し迫った必要が生じたときに助けになれるよう**、引き続き立派な行いに励むことを学ぶべきです。実を結ばなくなってはなりません) **アンドレイ兄弟の野外奉仕グループの兄弟姉妹は、困って**いた姉妹を**助**けたことで**いっそう親しく**なり、**家族のような絆**が生まれました。(詩 133:1 **兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう**)

16. コロサイ 4 章 3, 18 節からすると、迫害されている兄弟姉妹をどのように支えることができますか。

16 **政府からの制限**がある中でも、エホバに一生懸命仕えている兄弟姉妹は**何十万人も**います。**投獄**されている人たちもいます。私たちは、そうした**兄弟姉妹やその家族のために祈る**ことができます。また、投獄されている仲間を**助けている兄弟姉妹のためにも祈**れます。**自分も逮捕**されることを**覚悟**の上で、**信仰面や法律面でサポート**したり、**必要な物を届けたり**しているからです。*
世界本部や支部事務所に、投獄されている兄弟姉妹宛ての手紙の転送を依頼することはできません。(コロサイ 4:3 私たちのためにも祈ってください。私たちが**神の言葉を広め**、キリストに関する**神聖な秘密を語る**ことができるよう、神が扉を開いてくださるようにと祈ってください。その**神聖な秘密のために**、私は**拘禁**されています、18 私パウロのあいさつを自分の手でここに記します。**私が拘禁**されていることを**覚えていて**ください。皆さんに惜しみない親切が示されますように) **祈りにはとても大きな力がある**、ということを**忘れない**ようにしましょう。(テサ二 3:1, 2 最後に、兄弟たち、**私たちのために祈り続けて**ください。エホバ(*)の言葉が速やかに広まっていき、皆さんが重んじているその言葉が他の人々にも重んじられるように、2 また、私たちが**有害で邪悪な人々から救われるように祈って**ください。誰もが信仰を持っているわけではないからです。テモ一 2:1, 2 私はずまず次のことを勧めます。あらゆる人について、**祈願や、嘆願の祈りや、感謝の祈りを捧げる**ことです。2 王や高い地位にいる人たちについてもです。そうすれば、私たちは**神への専心を貫き、常に誠実に、平和で穏やかな生活**をしていけるでしょう)



迫害に備えて家族でどんなことができますか。（17 節を参照。）

17. 迫害に備えてどんなことができますか。

17 家族みんなで迫害に備えるようにしましょう。（[使徒 14:22](#) 弟子たちを力づけ、信仰を保つよう励まして、「私たちは、多くの苦難を経験して神の王国に入らなければなりません」と言った）起きるかもしれない大変なことについていろいろと考えるのではなく、自分も子供たちもエホバとの絆を強めるようにします。不安を感じる時には、自分の気持ちを全てエホバに話してください。（[詩 62:7, 8](#) 私の救いと栄光は神から来る。神は私の強固な岩、避難所。8 民よ、いつでも神に頼れ。あなたの気持ちを全て神に伝えよ。神は私たちの避難所。（セラ）） どうしてエホバを信頼できるのか、家族で話し合うこともできます。[*「ものみの塔」2019 年 7 月号の「今、迫害に備えましょう」という記事を参照。](#) 災害の場合と同じように、迫害にも前もって備えをし、エホバに頼るようにしましょう。そうすれば、子供たちは迫害に遭っても、勇気を出し、穏やかな気持ちでいることができるでしょう。

18. 将来どんなことが起きますか。

18 「神からの平和」があれば、感染症の流行や災害や迫害といった大変な状況を経験しても、穏やかな気持ちでいることができます。（[フィリ 4:6, 7](#) 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(*請願)を神に知っていただくようにしましょう。7 そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考え(*知力)を守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています）エホバは、長老たちを用いて私たちを助けてくれます。そして、私たちみんなが互いに助け合うようにも願っています。このようにして今「神からの平和」を得ているなら、将来のもっと難しい問題や「大患難」にも備えていることになります。（[マタ 24:21](#) その時、世界の始めから今まで起きたことがなく、いえ、二度と起きないような大患難があるからです）大患難の時には、穏やかな気持ちを保つ必要がありますし、そうできるよう仲間を助ける必要もあります。では、大患難後はどうなるのでしょうか。不安や心配を感じることはもうありません。エホバがいつまでも続く本物の平和を与えてくださるからです。（[イザ 26:3, 4](#) あなたに全く頼る(if*考えが揺れ動かない)人たちを、あなたは守り、絶え間ない平和を与えます。彼らがあなたを信頼するからです。4 いつまでもエホバに頼れ。ヤハ(*), エホバは、永遠の岩だからだ）

どうすれば穏やかな気持ちでいるよう仲間を助けられますか

1. 感染症が流行する時

- ・S03-05 一緒に伝道したり、みんなで楽しい時間を過ごしたりして、以前からよく知り合っている、仲間の様子を知っているなら、直ぐに援助できる。長老たちは、電話やメールなどでも良く接触し、感情面や信仰面で援助できる。
- ・S06 病気の人や援助の必要な仲間へのちょっとした親切を心掛ける（手紙、プレゼント、買い物支援、食事を届ける、集会後の会話）。忙しく働く長老たちを励まし、感謝を示す。

2. 災害が起きた時

- ・S08 災害に備えてきちんと準備すること、自分の身を守る方法や、長老たちと連絡を取る方法をきちんと理解しているか、確認しておく。
- ・S09 災害が起きたなら、グループの兄弟姉妹一人一人と連絡を取り、困っていることがないかを確認。その情報をすぐに長老団の調整者に知らせます。調整者は巡回監督に伝える。
- ・S10 災害が起きた直後は、安否を確認したり衣食住の面で助けたりするが、その後もしばらくの間、感情面や信仰面で支えていく。
- ・S11 長老たちは泣く人と一緒に泣き、被災した兄弟姉妹に、エホバや仲間から愛されているということを伝える。家族みんなで祈りや聖書の勉強や集会や伝道といった良い習慣を守れるようにも助ける。長老たちはこの面でも親たちをサポートできる。親は子供たちに、エホバがいつもそばにいて力になってくれること、世界中の兄弟姉妹がぜひ助けたいと思っていることも伝える
- ・S12 近くで災害が起きた時には、自分に何ができるか、長老たちに尋ねる。被災したり救援活動に来た兄弟姉妹を家に泊めてあげたり、食べ物や生活に必要な物を届けたりできる。被災した仲間のためにエホバに祈り、世界的な活動のために寄付して、救援活動をサポートできる。

3. 迫害される時

- ・S14 長老たちは何よりもエホバに祈って頼る。エホバはその祈りに答え、自由に動くことができる会衆の人たちを用いて仲間を必ず助けてくださる。
- ・S15 禁令下では、少ない人数で集まらなければならなくなるので、今から兄弟姉妹と仲良くすることに努める。仲間の失敗や間違いを大目に見て、意見がぶつかった時には、できるだけ早く解決する。仲間を進んで助ける。
- ・S16 政府からの制限がある中でもエホバに一生懸命仕えている兄弟姉妹、投獄されている兄弟姉妹やその家族のために、投獄されている仲間を助けている兄弟姉妹のためにも祈れる。自分も逮捕されることを覚悟の上で、信仰面や法律面でサポートしたり、必要な物を届けたりできる。
- ・S17 起きるかもしれない大変なことについていろいろと考えるのではなく、家族みんなで迫害に備えるため、エホバとの絆を強めるようにする。不安を感じる時には、気持ちを全てエホバに話す。どうしてエホバを信頼できるのか、家族で話し合う。災害の場合と同じように、迫害にも前もって備えをし、エホバに頼るなら、子供たちは迫害に遭っても、勇気を出し、穏やかな気持ちでいられるようになる。